

「高知県立のいち動物公園」とブチハイエナの相互移動を行います
～飼育担当者が語る歓送迎会を開催～

千葉市動物公園では、国内のブチハイエナの繁殖による増殖を目指すため、当園のカロア（メス）と「高知県立のいち動物公園」のトーフ（オス）との相互移動を実施し、共同繁殖事業に取り組みますので、お知らせします。

また、飼育担当者が語る「カロアを送る会・トーフを迎える会」を開催しますので、併せてお知らせします。

1 相互移動相手

高知県立のいち動物公園（高知県香南市野市町大谷738）

2 千葉市動物公園からの搬出個体

- (1) 愛称 カロア
- (2) 性別 メス
- (3) 生年月日 令和元年10月4日
- (4) 搬出日 令和5年10月9日（月）



ブチハイエナ「カロア」

3 高知県立のいち動物公園からの搬入個体

- (1) 愛称 トーフ
- (2) 性別 オス
- (3) 生年月日 平成24年10月2日
- (4) 搬入予定日 令和5年10月12日（木）

※搬入後に検疫期間（病気の有無の確認）を必要とするため一般公開の時期等については改めて動物公園ホームページでお知らせします。



ブチハイエナ「トーフ」

4 「カロアを送る会・トーフを迎える会」の開催

- (1) 日時
令和5年9月21日（木）13：30から
- (2) 場所
動物公園内 ブチハイエナ展示場前
- (3) 内容

カロアについては飼育担当者の思い出話や給餌を行い、トーフについては現在の近況報告などを紹介します。

<参考>

1 ブチハイエナについて

(1) 保護状況

レッドリスト LC (低危険種)

ワシントン条約付属書 なし

(ハイエナの仲間ではシマハイエナとアードウルフが付属書Ⅲに該当)

(2) 特徴

体長 130 cm、尾長 20～30 cm、体重 60 kg

体毛は褐色から灰褐色で全身に黒褐色の斑点がある。

前足は後ろ足より長く筋肉も発達している。体格はオスよりメスの方が大きい

(3) 生態

5～50頭位の母系の群れをつくる。夜行性でシマウマやキツネ類などを捕食する。
ライオンとは敵対関係にある。

(4) 分布

アフリカ大陸 (サハラ砂漠、コンゴ盆地、アフリカ大陸最南部を除く)

(5) 飼育頭数 (令和4年12月末時点)

ア 千葉市動物公園 メス3頭

イ 国内飼育頭数 (日本動物園水族館協会加盟園館) (11施設)

オス17頭、メス13頭 計30頭

2 相互移動の経緯

カロアは令和2年にオスとして千葉市動物公園に搬入されたが、令和4年に画像診断、DNA検査によりメスであることが判明した。高知県立のいち動物公園でもブチハイエナの繁殖計画を検討していたため、今回の相互移動が決定した。